

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	レインボー熊野町			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 17日 ~ 2025年 12月 15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数)	25
○従業者評価実施期間	2025年 11月 17日 ~ 2025年 12月 15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 17日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童の発達に応じた柔軟な個別と集団の活動ができる	児童一人ひとりの発達段階や特性に応じて個別活動と集団活動を柔軟に組み合わせ無理のない段階的な参加と成功体験の積み重ねを大切にした支援を行っています。	「失敗しても大丈夫」な文化づくり 無理に通所や参加をさせない共通認識 「今日は休む選択ができた」と評価
2	他事業所と合同で外出イベントに参加する 集団行動のプログラムや行事がある	他事業所と合同で外出イベントに参加することで児童の社会性や適応力を育てるとともに、地域連携・支援の幅・職員の連携力を活かした実践的な支援ができる 他曜日の児童が集まって同じ目的をもって行動しルールを守ったり、役割を持つこと、譲り合いや協調性などの社会性を養うことを意識し取り組んでいる。	児童の社会性・適応力を育てる強み 普段と違う人・ルール・環境を経験できる初対面の児童や大人と関わることで→ あいさつ・順番待ち・気持ちの切り替えが自然に身につく 集団行動が苦手な子どもに対しては、焦らずに子どものペースで少しずつ集団に慣れさせる。
3	保護者への支援	日々の様子を丁寧に伝える支援として家庭では見えにくい姿を共有し安心につなげます。写真付き連絡帳での具体的なエピソード共有や写真付きコメントで活動の雰囲気を可視化です。成果だけでなく「過程」や「工夫」も伝えている。	活動のねらいや児童の成長過程がより伝わるよう工夫し、個別支援計画との連動や職員間の視点共有を行うことで、保護者との相互理解をさらに深めていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流	地域交流の重要性を認識する一方で安全面や児童の特性への配慮、職員体制、地域や保護者の理解といった課題があると考えています。	無理のない範囲で段階的な交流を行い事前説明や振り返りを大切にしながら継続的な関係づくりを目指しています。
2	ペアレン特・トレーニング	当事業所では、ペアレン特・トレーニングの重要性を認識する一方保護者の心理的・時間的負担、ニーズの多様性、事業所の体制や専門性の限界といった課題があると考えています。	一方的な指導ではなく日々の支援の中での気づきの共有や、家庭の状況に応じた無理のない助言を通して保護者と共に考える支援を大切にしています。
3			